KAIHOU

会報、快報、回報、ニュース

東京工芸大学同窓会 関西支部 会報

平成28年度号 平成28年9月発行

東京工芸大学同窓会 関西支部 会報 目次

支部長ご挨拶　東京工芸大学同窓会関西支部 支部長　駕田　毅

来賓ご挨拶　東京工芸大学同窓会 専務理事　立川宏司

平成28年　支部総会

講　演　東京工芸大学 学長　義江龍一郎

平成27年度会計報告・平成28年度予算案

議案審議

平成28年　懇親会

平成28年　総会出席者

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

会費納入のお願い

役員氏名一覧

関西支部事務局・各地区連絡先

東京工芸大学同窓会 関西支部

平成28年　支部総会　ご挨拶　42期　駕田　毅

関西支部支部長　42期　駕　田　　毅

皆様、こんにちは。

足元の悪い中、多くの方々にお集まり戴きまして誠にありがとうございます。

本日は、同窓会本部より立川専務理事、また講演としまして今年４月より東京工芸大学学長におなりになられました義江龍一郎先生にお越し戴きまして、関西支部総会を開催できる事は本当に嬉しい事だと思います。

これから、立川専務理事様にご挨拶を戴きたいと思いますので皆様よろしくお願い致します。

平成28年　支部総会　ご挨拶　42期　立川宏司

東京工芸大学同窓会専務理事　42期　立　川　宏　司

この度は、関西支部の総会おめでとうございます。

明後日に理事評議委員会の開催を予定しておりまして、まだ準備が整っておりませんので今日このまま東京に帰る予定でございます。

また、８月末に名簿を1,800～2,000部位発行する予定でございます。会員数が１期から90期22,804名の内、住所判明者13,250名、住所不明者7,814名、物故者1,550名で物故者数については、まだ連絡が取り切れていない方もおられます。

今年度、同窓会創立90周年の大会を９月３日に開催します。皆様には、５月発行のひろばの中でご案内をさせて戴いておりますが、参加の返信が少ないので私共は大変やきもきしております。

当日は、午前10時から受付で午後５時頃まで開催されます。記念講演では東京理科大学 学長　藤嶋　昭先生にお願いしておりまして、演題が「偉大な先人科学者に学び、これからの科学を考える」光に関与したニュートンやアンイシュタインを例にして、となっております。同時にこの日は大学主催のホームカミングデーも予定しております。

併せてこの時期に行事が集中しますが、９月４日に第４回全国支部長会議を開催致します。

この９月にかけて同窓会で色々な行事を予定しておりますので、一層のご協力の程をお願い申し上げます。

また何かありましたらご連絡を戴きたいと思います。

本日は、重ねておめでとうございます。

平成28年　支部総会

東京工芸大学同窓会関西支部　総　会　平成28年６月　　於　アークホテル

平成28年　支部総会

平成28年６月25日㈯、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し、近畿各地から同窓生が参加しました。

来賓として、東京工芸大学同窓会本部 42期立川宏司専務理事、今年４月より学長になられました義江龍一郎東京工芸大学学長のご出席を頂きました。

38期滝口氏の司会進行で、まず亡くなられました30期真鍋義久氏・41期片山一郎氏・53期山本孝弘氏に黙祷を捧げ、各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

来賓講演にて、義江龍一郎学長より「COEと私」のお話を頂き、また立川専務理事より同窓会事務局の近況などのお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り54期金居光由氏の司会、42期駕田　毅氏の乾杯に始まり、時間の経つのも忘れ現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、工-24期内海新一氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。

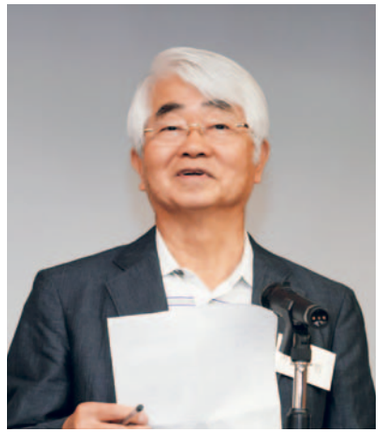
支部長　42期　駕田　毅　氏

司　会　38期　滝口　雅之　氏

広　報　工16期　小林　修一　氏

京都地区　39期　安岡　賢治　氏

滋賀地区　47期　大西　繁　氏



大阪地区　39期　山本　哲　氏

兵庫地区　54期　金居　光由　氏

奈良地区　43期　二見　むつみ　氏

会計報告　40期　倉橋　正直　氏

講演　東京工芸大学 学長　義江龍一郎

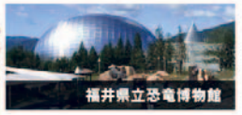
「COEと私」

東京工芸大学 学長　義江龍一郎

皆様、こんにちは初めまして、今年度４月より学長に就任致しました義江龍一郎と申します。今日は、関西支部総会にお招き戴きまして誠にありがとうございます。

今日は、「COEと私」というタイトルでお話をさせて戴きます。「COE」とは、「最高経営責任者」ではございません。最高経営責任者は「CEO」です。COEとは何かについては、後でお話しします。まず最初に自己紹介、「COEと私」、学長方針の順にお話させて戴きたいと思います。

私は、福井県の出身です。福井県の人は大変郷土意識が強く、今日いらっしゃっている同窓会の福岡さんも福井県出身とお聞きしまして大変嬉しく思っております。私の生まれた所は、福井駅の東10km位の所で越前東郷という町です。その近くには、織田信長に滅ぼされた朝倉義景の一乗谷城の遺跡があります。朝倉遺跡と呼ばれております。その近くには、一乗滝があり、ここで佐々木小次郎がつばめ返しの剣術を編み出したと言われております。福井には、東尋坊とか永平寺、あわら温泉など昔から有名な観光地がありますが、最近、福井県の勝山で恐竜の化石が出まして恐竜を全面的に押出しております。福井県立恐竜博物館がございます。展示物が素晴らしく、一日中居ても飽きないところです。福井にお越しの際は、是非、恐竜博物館を訪問されるといいと思います。去年から福井駅の目の前に動く恐竜のロボット３体が設置され、福井県は今恐竜ブームに沸いています。



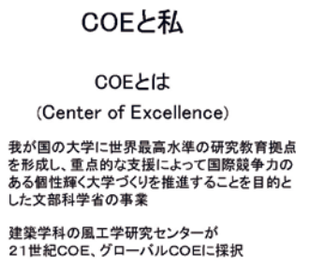
朝倉氏　一乗谷城遺跡

一乗滝

高校卒業まで福井で過ごし、大学は京都大学建築学科です。下宿が京都の百万遍の北の叡電元田中駅の近くにありました。１階に大家さんのおじいさんとおばあさんがおりまして、２階に学生が５人住んでいたという家でございました。ずっと下宿のおじさんおばさんと年賀状のやりとりをしておりましたが、何年か前から返事が返ってこなくなりました。心配なので下宿がどうなったのか明日見に行ってみようと思っております。

大学時代、私は劣等生でしたし、家の経済状態も良くなかったものですから、大学院にいく気持ちは毛頭なく、卒業後すぐに前田建設工業に就職しました。本当は、竹中工務店に入りたかったので、大阪にある竹中工務店の本社に何回も通って面接を受けておりました。人事の人から「君は大丈夫だ」と言われておりましたが、最後の役員面接で落ちてしまいまして、それが忘れもしない10月28日でした。大丈夫と言われておりましたので、他を受けておらず途方に暮れました。そして大学の就職の先生に相談に行きましたら、先週前田が来てたから前田を受けなさいとすすめられました。

実は、前田建設の発祥は福井県でありまして、私が住んでおりました東郷の隣町の美山町出身の前田又兵衛という人物が社長でした。福井県で前田又兵衛と言えばとても偉い人と子供の頃から聞いていて、親しみも持ってましたので前田建設を受けて、何とか入社する事ができました。私は現場希望だったのですが、技術研究所に配属されてしまいました。入社後５年は音とか振動の仕事をしておりました。具体的には、マンションなどの騒音苦情などに出向き騒音を測定したり、対策法を検討しておりました。また工事中の騒音振動、建物ができた後の騒音振動を予測する仕事をしておりました。そして入社５年目の頃に、前田建設も超高層を建てるぞという話になりました。超高層の建物となりますと大事なのが建物に作用する風力、建物周囲のビル風の問題を検討しないといけないのですが、前田建設には風洞実験施設はなく東京大学生産技術研究所に風洞実験を委託致しました。上司から東大に実験を手伝いに行ってこいと言われまして、暫く東大に行って風洞実験をしておりました。その実験が終わって会社に戻って暫くしてから、その研究室の村上周三先生（元日本建築学会会長）から上司に電話がありまして、義江に博士論文の研究をやらせてみないかという話がありまして、東大で研究をやることになりました。20代の後半から30代の前半まで会社と東大、半々くらいの日々を送っておりました。先生には大変厳しく怒られましたが、何とか博士論文を書き上げる事ができました。この先生には随分鍛えられま



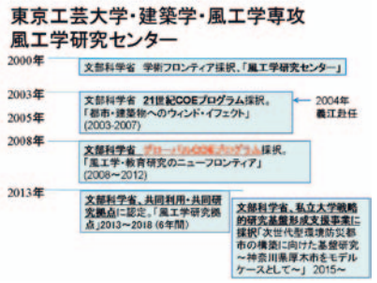
した。博士論文は、火災時の煙流動のように非常に熱い気流の流れ解析をテーマとしました。火災時は凄く熱くなりますので空気が大きく膨張します。すると軽くなりますから大きな浮力が作用するわけです。そういう流れの数値シミュレーション技術の研究を行いました。

博士論文が終わって、会社で仕事をしているとある日、前の前の学長だった小林信行先生から会社に電話がかかってきまして、おれは来年学長になるから後任をさがしているので、是非応募して欲しいと頼まれましたので応募した所、選ばれまして2004年、今から12年前、工芸大の建築学科にお世話になる事になりました。私は、大学に来てから風工学を主として教育、研究してきましたが、実は2007年に風工学研究センターで火事を出してしまいました。これは私が管理しておりました実験施設の電源コードの絶縁が十分でなくて恐らくトラッキング現象が出火の原因でした。そして、実験室が煤だらけになってしまい実験装置など使いものにならなくなりました。金額的にも多大な被害を出してしまって教職員の皆様にも大変迷惑をかけてしまいました。私はもうこの時、くびを覚悟しましたが、減給１ヶ月という実に寛大な処置をして戴きました。当時はまだ工芸大に来て４年という事もありまして、大学全体の事は考えておらず、自分の教育研究の事しか考えていませんでしが、これからは、東京工芸大のために尽くそうと決意を致しました。2012年から工学部の就職委員長になりました。当時の工学部の実質就職率は、分母を卒業生全員とした場合68％と低い数字だったのですが、これを90％にする高い目標を掲げまして随分一生懸命やりました。２年後には、90％を達成する事ができました。2014年から工学部長になり、昨年度末に学長指名を受けました。私が指名されるとは、まさに青天の霹靂で大変びっくりしましたが、光栄な事でありますし、この様な局面では絶対に逃げてはいけないと、私がこれまで仕えてきた偉大な二人のリーダーから学んできましたので、お引き受けする事にした次第でございます。

ここから「COEと私」という話をさせて戴きます。

COEとはセンターオブエクセレンスの頭文字を取ったものです。エクセレンスは素晴らしいという意味で、センターは教育研究拠点という意味です。すなわち、素晴らしい教育研究拠点という意味です。COEは、我が国の大学に世界最高水準の教育研究拠点を形成し、重点的な支援によって国際競争力のある個性輝く大学づくりを推進する文部科学省のプロジェクトであります。21世紀COEとそのあとグローバルCOEがあったのですが、その両者に建築学科の風工学研究センターが採択されておりました。

ここで風工学研究センターの歴史をご紹介したいと思います。2000年に風工学研究セン

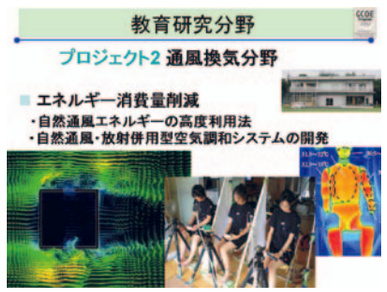


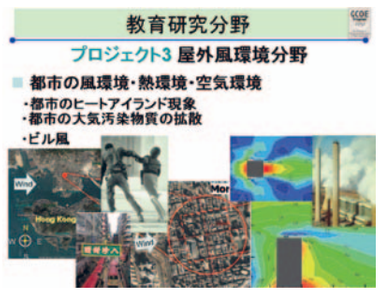
ターができました。この時も文部科学省の学術フロンティア事業に応募しまして採択されて風工学研究センターを作りました。この中心となったのが前の前の学長の小林信行先生であります。2003年に21世紀COEに採択され、さらにそのあとグローバルCOEプログラムに採択されました。私は、21世紀COEの２年目に工芸大に来ました。グローバルCOEが終わった後も続けて文部科学省の共同利用共同研究拠点、私立大学戦略的研究基盤形成事業など積極的に応募して採択され続けています。この中でもグローバルCOEはとても凄く、文部科学省の重点的教育研究拠点形成事業でございます。特に国際的に突出している教育研究組織を日本における教育研究拠点として位置づけて、世界をリードする創造的人材育成を図るため、世界最高水準の教育研究拠点の形成を重点的に支援する事業です。これに工芸大の建築学科の風工学研究センターが採択されました。建築の分野が主体となったプロジェクトで選ばれた大学は、東工大、東京理科大と工芸大の３校だけです。多数の一流大学が応募する中で本学が採択されたのは、風工学に焦点を絞ってシャープな提案をした事が挙げられるかと思います。

本学のグローバルCOEは、「風工学・教育研究のニューフロンティア」というタイトルなんですが、これについてご紹介したいと思います。このプロジェクトは大きく三つに分かれております。プロジェクト１が耐風構造分野、これは台風、竜巻など強風が来た時に建築物にどの様な風荷重が作用するか、その風荷重に耐えるためにはどういう設計をすればいいか、被害を低減するためにはどうすればいいのかという研究をしてる分野です。プロジェクト２は通風換気分野、これは自然の風を室内に取り入れて、冷房エネルギーの削減を図ったりする研究です。プロジェクト３が屋外風環境分野でして、都市のヒートアイランド現象、都市の大気汚染物質の拡散、高層ビル回りのビル風の問題を研究している分野です。私は、プロジェクト３のリーダーを務めておりました。

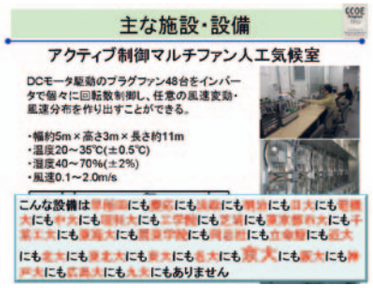
風工学研究センターの施設、設備を紹介したいと思います。

アクティブ制御マルチファン人工気候室というのが風工学研究センターの２階にござい

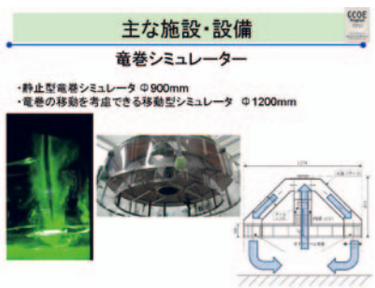


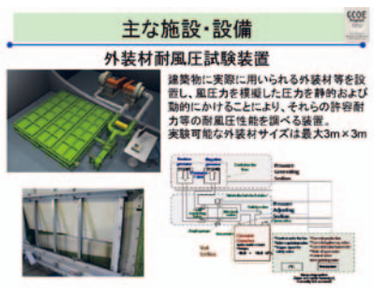


ます。人工気候室ですので温度とか湿度を制御する事ができます。例えば、東南アジアの熱くて蒸し暑い気候を作り出す事もできますし、逆に寒い気候を作り出す事もできます。それに加えて、この48個のファンを自在に制御する事によって任意の風速変動、分布を作り出す事ができます。例えば、自然風の様に複雑に変動する風も作り出す事ができます。



この中に人体を入れて、温熱感覚について研究している例です。ここは、特に夏になりますと熱中症特集などでテレビ局の方がよく取材に来ます。この設備は、早稲田にも、慶応にも、…私がいた京大にも、どこにも無く世界に一つだけです。それから、温度成層風洞というのがあります。これは、普通の風洞とは違い、気流の温度と風洞の床面の温度を制御する事ができる特殊な風洞です。温度を変える事によって大気安定度を変える訳です。大気安定度とは例えば夏ですと日射を受けて地面が熱くなりますね、空気の温度より熱くなります。例えば、空気の温度が30度位だったとして、地面の温度は日射を受けると50～60度かもっと高くなる、こういう状態になりますと地面に近い空気は暖められるので浮力が働き上昇気流になり、かつ気流が乱れている訳ですね。このような状態を不安定大気状態といいます。そういう状況を作り出す事ができる。逆に霜柱ができる様な冬の朝ですと夜間放射現象によって地面のほうが空気より冷たくなっている状態になりますと、地面近くの空気は冷やされて重くなって地面にぴたっと張り付いている様な状態になります。これを安定大気状態といいます。このような大気の安定度によって汚染物質の拡散の状況がだいぶ変わってきます。汚染物質の拡散、ヒートアイランド現象の研究にこの風洞が使われます。この設備もどこにもないことはないのですが、京大にもないですし、日本の大学では東大、工芸大、九州大の３つしかありません。また、大型境界層風洞は大学で持っている風洞としては最大級のものです。この風洞の中に都市の模型を置いて建物に作用する風圧を測ったり、あるいは建物の周りの風を測ったりします。これもですね、早稲田にも、慶応にも…ありません。この様に他大学にはない様な設備が本学では充実しております。竜巻シミュレーターなんてものもあります。竜巻状の気流を発生させる事ができる装置です。竜巻が来た時に建築物にどの様な風荷重が作用するかは今、ほとんどわかっておらず、そういった事をシミュレーターする事もできます。外装材耐風圧試験装置なんても



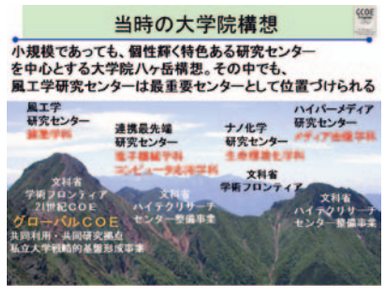


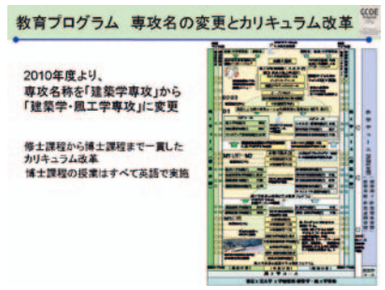
のもあります。

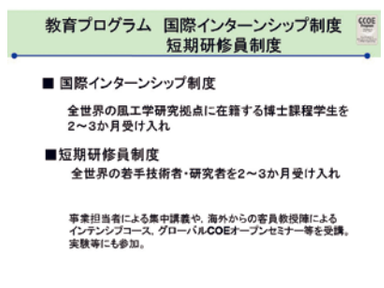
このグローバルCOEの事業は、建築学科の６名の教員によって行っておりました。上の段が建築構造分野の教員、下の段が建築環境分野教員であります。他大学のグローバルCOEは、何十人もの教員が参画してやっているのに対して、本学では僅か６名で切り盛りしておりました。この中でも田村幸雄先生は非常に偉い先生でありまして、元日本風工学会会長、前の国際風工学会会長で世界をリードする様な方です。それからグローバルCOEの時に大学院の専攻名とカリキュラムを大幅に改革しました。まず、専攻名称を建築学専攻だったのですが建築学風工学専攻という名前に変えました。それから、これはカリキュラムの絵なんですけれども修士課程から博士課程まで一環したカリキュラム改革を行いました。博士課程の授業は全て英語で実施しておりました。この博士課程のカリキュラムの一つとして博士課程のインテンシブコースをやっておりまして、国内外の著名な研究者を客員教授として招聘して延べ170講義を実施して単位を授与しておりました。

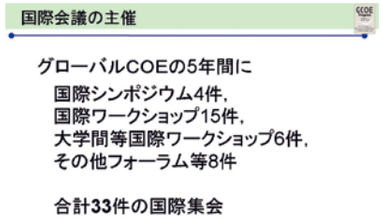
グローバルCOEオープンセミナー、これは外部に公開したセミナー。国際アドバンストスクール、これは本学の学生だけではなく外国に行って講義をして外国の若手の研究者、学生を教育するという様な趣旨のものであります。これは、ほぼ毎年行っておりました。私もほぼ毎年行っておりまして、これは香港でやった時の写真です。

国際インターンシップ制度、短期研修員制度というのもやっておりまして、海外から沢山の学生や若手の研究者を受け入れておりました。これがグローバルCOEの期間中に受け入れた学生達です。世界中から学生や若手研究者が来ておりまして大変活気がありました。私のもとにもインド人と中国人の博士課程の学生が３人来ておりまして、みんな博士の学位を取って今では母国で大学の先生になっています。国際会議も沢山実施しました。ISWEとかですね、ここには前の前の学長の小林先生が写っています。これはその前の学長の本多先生ですね。APEC・WWこれはAPEC地域を対象とした国際ワークショップです。JaWEik、これは韓国、中国とのワークショップでございます。この様に、グローバルCOEの５年間に国際集会を計33件やりました。２ヶ月に１回くらい国際会議を行った勘







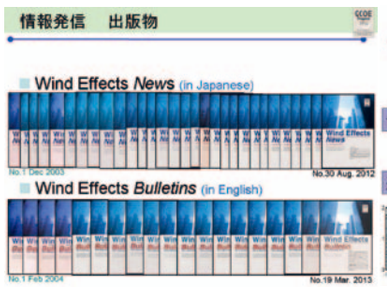


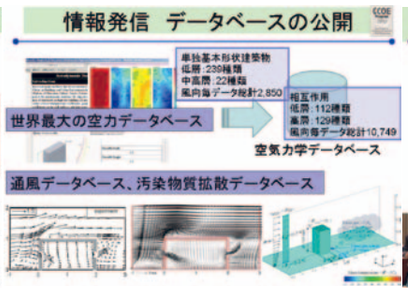
定になります。その他出版物を沢山作って海外の研究機関に送って情報を発信したり、データベースを公開したり、講義をwebで公開したりして、国内外への情報発信を精力的に行っておりました。この様な活動に対して毎年、年度末に国際アドバイザリーボードによる外部評価というものを受けておりました。国内外から著名な先生達がアドバイザーとして来てですね、１年間の活動をその場所で報告して、それに対して評価を受けるという事を毎年年度末に行っておりました。私の博士論文の指導教官の村上先生もここにおります。また村上先生に怒られるのかと毎年毎年このアドバイザリーボードの前は憂鬱でしたけれども、村上先生からは、こんなに真面目に精力的に行っているグローバルCOEの拠点は他にはないと高い評価を受けました。グローバルCOEをやっている期間ですね、本当に大変だったのですが、大変鍛えられ成長させてもらいました。どれもこれもいい経験をさせて戴いたと思っております。

先程も紹介致しました田村幸雄先生ですが数年前に退職されて、今は本学の名誉教授ですけれども、田村先生は本当に凄い先生でございます。COEの活動とその成果は田村先生の強力なリーダーシップによるものです。私は必死に田村先生についていっただけです。先程も申しました通り、日本の風工学会会長、世界の風工学会長を務めておられました。世界をリードする気概を持っておられた先生で、極めて前向きで絶対に無理だと言わないで実行して、そして必ず成果を上げるという素晴らしい先生です。

私が工学部長、学長と何とか務める事ができているのも田村先生、村上先生という二人の偉大なリーダーの側で学ばさせて戴いた御陰だと思っております。先程学長指名を受けた時の話の中で、偉大な二人のリーダーと言いましたが、それが田村先生と村上先生でございます。

グローバルCOEが終わったのち、風工学研究センターのアクティビティーを維持するために、その後も積極的に文部科学省のプロジェクトに応募しておりまして、2013年から





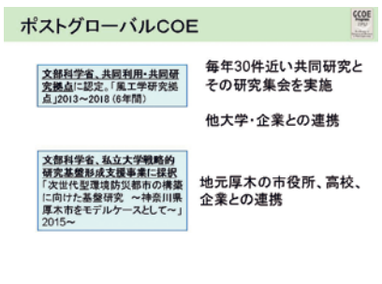
は文部科学省の共同利用共同研究拠点に応募して採択されました。これは、今でも継続しておりますが毎年30件近い共同研究を行っており、毎年参加者が延べ3,000人位おります。2015年去年からは私立大学戦略的研究基盤形成支援事業にも採択され、厚木市の市役所とか高校、企業と連携して進めております。

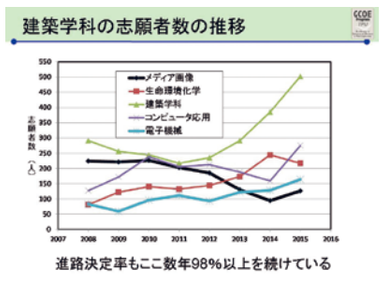
これが工学部の志願者数の推移なのですが、建築学科が最近の建築人気というのもあるのですが、ここ数年ずっと志願者が増えてきております。工学部芸術学部を通じて志願者数は建築がダントツなんですね。

偏差値でも建築が一番上になっております。最近では受験する高校生が面接とか自己アピール書なんかで風工学研究センターの事を挙げていることが多く、研究活動を活性化させるという事は志願者確保の上でも大変重要だと考えております。

最後に今年度掲げさせて戴きました学長方針のついてお話します。私は、これまでいろんな場所で東京工芸大学は数ある大学の中でも最も特色と魅力溢れる素晴らしい大学であると、私は東京工芸大学に誇りを持っていると言っております。ところが、それが世間には十分伝わっていない。毎年入学者確保に汲々としている様な状態ですし、偏差値もなかなか上がっていかず低いままに留まっております。

この様な状況を打破するためには、もうナンバーワンになるしかないと私は思っております。学長方針のタイトルはエクセレントユニバーシティ、真のナンバーワン、オンリーワン大学を目指してというもので、５つの目標を掲げました。一つ目は、真の工芸融合の実現、これは学生も教員もです！工学部と芸術学部を持つということは、他大学には無い本学の独自性であります。ここには秘められた高いポテンシャルがあるはずです。いままでも工芸融合はずいぶん言われてきたのですが、なかなかそれが上手くいっていない。これを私は実現させたいと思っております。どう実現させるかという事ですが、一つ目として全学的な独自色を大きく打ち出す教育研究に取り組むというものです。丁度いま、私立大学研究ブランディング事業という文部科学省のプロジェクトの公募が出ておりまして、そこに工学部と芸術学部一体となって応募する事を考えております。テーマとしては、本学のルーツであります写真、印刷、画像に関わってくる色の国際科学芸術研究拠点を築きたいと考えております。両学部の学生の交流をもっともっと図りたいと思っております。クラブ活動を通じてだとか。工学部と芸術学部の授業の垣根がありますが取り払って、授業でも工学部と芸術学部という、バックグラウンドが異なる学生が交流する様な環境を創って行きたいと考えております。





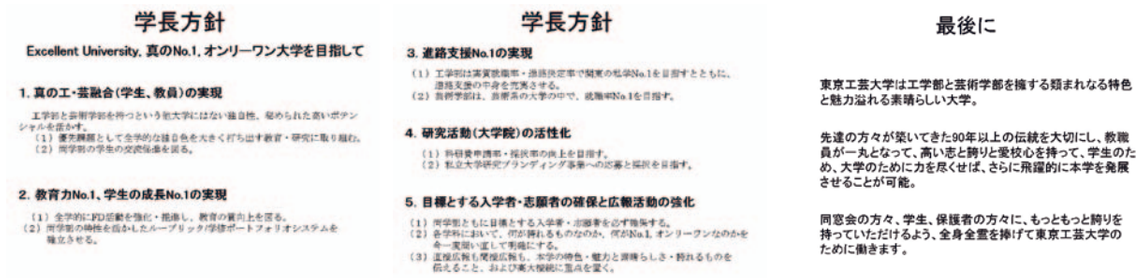
二つ目は、教育力ナンバーワン、学生の成長ナンバーワンの実現！手段としてはFD活動(Faculty Development)を強化推進して教育の質向上を図りたい。工学部では、去年から本学独自のルーブリック/学習ポートフォリオシステムを始めており、これは着実に学力が付いてそして学生が日々の成長を実感できる、とてもいいシステムであると私は思っております。高校の先生方にも紹介してるのですが、大変評判がいいです。今年は、これを電子化する予定です。芸術学部の方も工学部のシステムをそのまま導入するのはなじまないのですが、芸術学部の特色にあった教育システムを考えていきます。

三つ目は、進路支援！これは、就職を含む進路支援ナンバーワンの実現です。工学部では実質就職率、進路決定率で関東の私学ナンバーワンを目指すと共に進路支援の中身を充実させる。工学部は今年度進路決定率97.6％までいきました。100人卒業生がいたら97～98人はちゃんと進路が決まるところまできました。数年前は先程もいいましたが68％に過ぎなかったのですが、やればここまで変わってくるのです。去年、関東の私大で３位だったんですね。１位が芝浦で２位が理科大で、３位が本学でした。去年、92％で３位でしたので今年97.6％なので、もしかしたら今年度、芝浦とか理科大を抜いてナンバーワンになってるかもしれません。芸術学部は、芸術系の大学の中でダントツナンバーワンになって欲しいと思っております。ただ芸術の方はフリーでやっていく様な学生も多いので進路決定率ではなくて就職率、就職を希望している人の中での実際に就職した人の割合を芸術系の大学の中でダントツナンバーワンにしたいと思っております。

四つ目は、研究活動、大学院の活性化ですね。科研費申請率、採択率の向上を目指します。さらに先程も言いました通り私立大学研究ブランディング事業に応募して採択を目指します。

私が今日お話しましたCOEの経験を踏まえますと、採択されるとと非常に研究活動が活性化され、その結果として志願者増にも繋がると強く実感しておりますので、是非これに採択されて工芸両方に通じた研究拠点の形成を目指したいと思っております。

最後五つ目は、入学者、志願者の確保。広報活動の強化でございますが広報活動というのはお金をかければいいというものではないと私は思っております。例えば、工芸大は広報費に数年前は今の倍のお金をかけていた時期もありましたが、その年に志願者が増えたかというと逆に減っているのです。お金をかけるだけではダメなんですよね。それではどの様にするかですが、やはり何が誇れるものなのか、何がナンバーワン、オンリーワンなのかを各学科が今一度問い直して、明確にする必要があると思います。大学全体がナンバ



ーワンになるためには、やはり各学科がナンバーワンだと言えるものを創らないといけません。そして、それらを強く外に伝えていく事が重要と思っております。もう一つ重要なのは、高大接続です。高校との連携をもっと強めて参ります。

最後に、もう一度申し上げますが、東京工芸大学は工学部と芸術学部を擁するたぐいまれなる特色と魅力溢れる素晴らしい大学だと私は思っております。先達の方が築いてきた90年以上の伝統を大切にして、教職員が一丸となって高い志と誇りと愛校心を持って学生のために大学のために力を尽くせば、さらに飛躍的に工芸大学を発展させる事が可能であると確信しております。同窓会の方々、学生、保護者の方々、あるいは教職員自身がもっともっと東京工芸大学に誇りを持ってもらえる様に全身全霊を捧げて東京工芸大学のために働いて参ります。

ご清聴ありがとうございました。

平成27年度会計報告

H27.6.1～H28.5.31

収入の部	
項目	金額
前年度繰越金	446,155
支部費	143,000
総会費	168,000
寄贈	1,051,000
利息	187
合計	1,808,342

支出の部	
項目	金額
通信費	72,520
総会会場費	141,460
交際費	75,640
会議費	22,100
雑費	17,630
広告費	32,400
次年度繰越費	1,446,592
合計	1,808,342

平成28年６月10日　　会　計　倉橋正直　　監　査　滝口雅之

平成28年度予算案

収入の部	
繰越金	1,446,592
支部費	150,000

支出の部	
通信費	70,000
交際費	50,000
会議費	50,000
雑費	30,000

会　計　倉橋正直

議案審議

1．27年度会計報告と監査報告（上記の通り）

2．28年度活動計画の概要

（1）支部会員に28年度総会等の報告書を作成し送付する。

（2）「新年懇親会」を諸般の事情により中止する。

（3）次年度総会を平成29年６月開催の予定。

（4）定例役員会１回開催。(29年３月)

3．役員改選（別記通りP26）

4．28年度　収支予算案　（上記の通り）

平成28年　懇親会

乾杯風景（乾杯の音頭は関西支部支部長42期　駕田　毅氏）

司会
54期　金居　光由氏

中締
工-24期 内海　新一氏

中締風景

平成28年　総会出席者（33名）

来　賓　　東京工芸大学学長　　義江龍一郎様

　　東京工芸大学同窓会専務理事　　立川宏司様

（滋賀県）（２名）

大西　繁（47期）　鶴谷佳憲（工-10期）

（京都府）（５名）

山本吉男（24期）　安岡賢治（39期）　宮本利夫（41期）　中村光信（工-３期）

八田耕治（工-20期）

（大阪府）（16名）

南　博（33期）　増本安雄（34期）　滝口雅之（38期）　山本　哲（39期）

北村知二（40期）　倉橋正直（40期）　駕田　毅（42期）　恵川邦雄（43期）

脇田耕作（45期）　内田英男（工-２期）　野志敏郎（工-３期）　石岡博文（工-８期）

谷野　彰（工-８期）　新藤謙一（工-19期）　鈴木正一郎（工-25期）　三橋浩二（工-27期）

（兵庫県）（５名）

福岡武雄（30期）　西尾祐一（36期）　金居光由（54期）　小林修一（工-16期）

内海新一（工-24期）

（奈良県）（２名）

安川洋平（30期）　二見むつみ（43期）

（和歌山県）（１名）

村田　忍（38期）

物故者（平成27年６月～平成28年７月）ご冥福をお祈りします。

30期　真鍋義久氏　御逝去

41期　片山一郎氏　御逝去

53期　山本孝弘氏　御逝去

熊本地震、東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

来　賓

42期　立川宏司　同窓会事務局より
本年９月３日に中野キャンパスにて創立90周年記念大会を開催致します。受付12時～17時30分、式典・講演会・ホームカミングデー・祝賀会を開催いたします。
参加費3,000円（73年以降卒業1,000円）参加申込みはひろば132号添付のチラシ又は、FAX030-5371-2732　事務局メールアドレスdousoukai@kougei-dousoukai.jp まで、お持ちしております。当日、日帰りの予定であります。

滋賀地区

34期　山田善章　いつも大変お世話になり有難うございます。去年、喜寿を祝い、いよいよ八十の大台にせまって参りました。

38期　古家和幸　毎回欠席致し、すみません。以前お世話になった山本吉男先輩がこの程現代の名工に選ばれたとのこと、おめでとうございます。これからもますますご活躍されますことをお祈りします。

39期　松江邦男　都合により欠席させていただきます。

46期　押田明雄　１年前に仕事を辞め、のんびり過ごしております。しかし、残念ながら所用の為、総会に出席できません。

47期　大西　繁　滋賀はいつも参加が殆どなく残念ですが、右、代表で頑張っています。

48期　星田　豊　ご案内、ありがとうございます。ご盛会をお祈り申し上げます。

工-10期　鶴谷佳憲　皆様とお目にかかるのを楽しみにしております。

工-12期　伊東正邦　昨年秋に宇治の平等院で行われた双美会に初めて参加させていただきました。毎年参加しているマスターズ水泳の大会も近く忙しい時期でしたが、福岡様からのお誘いもありましたので、参加させていただき駕田様はじめ皆様と親睦を深めることができたと思います。また当日幹事をされた大西様、どうもありがとうございました。

京都地区

35期　外村陽二　相変わらず、国内外の文化遺産、祭、年中行事の撮影に熱中しています。総会に欠席となり、申し訳けありません。

40期　北村隆夫　すいません。当日他の予定があり、出席出来ません。皆様によろしくお伝え下さい。

41期　井原裕三　いつも大変お世話になっております。お手配感謝申し上げます。今回も欠席とさせて頂きます。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

41期　宮本利夫　41期の皆さん覚えていますか。大階段教室で新潟地震の揺れを感じた事。報写の人達がすぐに新潟に向かった事を。東京オリンピックの時、学内が静かでしたね。集まりましょう、次年度は!!

53期　前田欣一　お世話になります。大変申し訳ございませんが欠席いたします。

54期　梅津由岐子　今年３月に長男が結婚しました。現在アメリカのダラスで息子はNECのプロダクトマネージャーをしております。

工-３期　中村光信　前略　義江龍一郎様の講演を拝聴に寄せてもらいます。また、先輩方とのおしゃべりも楽しみにしています。

大阪地区

30期　貝塚　裕　役員の皆様には大変お世話をおかけしております。日々元気に過ごしております。当日、所用にて残念乍ら欠席させていただきます。皆々様によろしく。

31期　工藤　眞　住所が変わりました。体調も相変わらず今一つで今回も欠席となります。参加の方々にもよろしくお伝え下さい。

33期　林　徹　小生も81才になり老いとのたたかいです。悪しからず！皆様によろしく。

33期　荒木祥夫　ご案内いただき有難うございます。

33期　南　博　役員の皆さん、いつもお世話かけて申し訳ありません。この総会で多くの方とお会いするのが楽しみです。あい変わらず太極拳の普及に努めており、薬を何も飲まず元氣にしております。

38期　滝口雅之　よろしく御願いします。

40期　木地憲司　済みませんナァー。いつも有難うございます。まだ生きていますョー。

40期　倉橋正直　会計より
工学部卒の某氏より多大の御寄付をいただきました。同窓会活動に有効に活用させていただきます。

40期　菱川典郎　この６月は会社のOB会、高校の同窓会、この歳になりますとデイハウス…の旅行とが３つも４つも重なり、誠に申し訳ございません。今回も欠席させて頂きます。会の益々の御発展を祈ります。

43期　恵川邦雄　昨年は欠席（手術の為）、今回は出席させていただきます。

工-２期　内田英男　あっという間の一年でした。皆様とお会い出来る事を楽しみにしています。

工-２期　沖　岩男　ご案内、ありがとうございます。都合により欠席します。本会のご盛会をお祈りします。

工-３期　野志敏郎　久しぶりに出席させていただく予定ですが、両親のことがありますので万が一の場合、欠席になることをお許しください。皆様によろしく。

工-４期　俣野恒雄　私事ですが、４月に２人の娘が出産の為我家に戻り、先日無事２人の孫を出産しました。そのため、２人の娘と３人の孫の世話で嬉しい悲鳴をあげています。お宮参りの日と同窓会が重なりそうになっていますので、誠に残念ですが欠席させて頂きます。会長からありがたいお電話を頂きましたが、申し訳ありません。

工-５期　川畑和夫　この４月に再々就職し、週４日の勤務で仕事を続けています。あと数年70才位迄は頑張りたいと思っています。他用の為出席できませんが、盛会をお祈り申し上げます。

工-８期　石岡博文　61才となり、休日はゴルフと映画に行っています。

工-８期　谷野　彰　当日都合がつかず欠席します。

工-９期　友永芳男　いつも連絡ありがとうございます。ご盛会をお祈り申し上げます。

工-16期　松本秀作　誠に申し訳ございません。当日は高知県四万十市にて講演依頼があり、四万十に出向いておりますので欠席させていただきます。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

工-21期　原　浩一　会社都合により、2014年１月１日付で東京勤務となり、早くも２年６ヶ月が過ぎようとしています。大学の活動としましては、毎月１回東京工芸大学中野キャンパスで行われている印刷技術懇談会に参加させていただいております。昨年に続き参加出来なくて残念です。大変申し訳ございません。

工-27期　三橋浩二　よろしくお願い致します。

兵庫地区

27期　仁科義男　リハビリに精を出しておりますが、未だ歩行困難ですので欠席致します。皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますと共に、会の益々の発展をお祈りしております。

30期　松本一馬　前略　役員の皆様、お世話様です。多謝!!学長先生にお会いするのも初めてですし、皆々様と歓談できる年１回の機会、常連プラス久し振りの方、初めての方々と、お会いできるので楽しみです。学長先生にお会いするのも初めてで、丁度今秋大学へ行く予定ですので今回、是非お会いし、ご挨拶したいと思っています。お陰様で小生、元気に暮らしております。5/14には、81才（小生!!）から、3才迄、一族で六甲山牧場へ行きました。デジカメで写してプリント（否!!印刷!）味気ない事。

30期　真鍋義久　早くお伝えしなければならなかったのですが、夫　義久は長い闘病の末、一昨年亡くなりました。皆々様の繁栄と御健康をお祈り致し、感謝を致しています。

30期　福岡武雄　第２の人生：ライフワークの一つ、今年も大輪菊の栽培に精を出しています。加えますに「木彫・陶芸」も楽しみながら日々元気に過ごしています。会報が手元に届く頃には菊花の見頃！木彫・陶芸は展示会が済みヤレヤレと云ったところです。

31期　森沢嘉昭　当日は理事を務めているデザイナーの協会の理事会があり、出席することができません。ご盛会を心よりお祈り申し上げます。

34期　高家正尚　体調不良の為　いつもお世話成り、申し訳け有りません。

36期　上松忠夫　幹事さんいつもご苦労様です。まだ現役で仕事はしておりますが、少々体調不良のため欠席といたします。皆様に宜しく。

40期　池上寿二　御盛会を祈念します。

40期　中尾克彦　いつも御案内ありがとうございます。所用があって参加出来ませんが、総会・懇親会のご盛会を祈念します。そして参加の皆様のこれからのご多幸と御健康を願っています。

41期　八田洋征　毎度ご案内いただきありがとうございます。体調がすぐれず参加は出来ません。ご盛会を祈っています。

44期　宮本喜明　退職後、年金生活です。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

51期	草野敦子	お世話になっております。いつも会報・ひろば等を送って下さりありがとうございます。卒業して40年。今年還暦を迎えました。専業主婦をしております。所用で出席できませんが、会員皆様のご活躍・ご発展をお祈り申し上げます。
54期	金居光由	副支部長・兵庫地区長を引き継ぐ事になりました。皆様よろしくお願いいたします。
工-７期	鈴木　隆	盛会をお祈り申し上げます。
工-８期	滝本亮太郎	この度は総会のご案内ありがとうございます。土・日・祝日に限っては会社の関係で出席は出来ません。皆様のご健康とご盛会をお祈り致します。
工-16期	小林修一	よろしくお願い致します。
工-24期	内海新一	３月より関西圏に戻ってきました。

奈良地区

23期	上田史郎	先輩から引き継いで来た伝統ある楽しい支部会として益々の発展を期待しています。残念ながら私は長年体調を崩し、“県病院”のお世話になりながら、今は“冠動脈狭窄症”で加療中です。16年間、支部長を務めさせて頂いた元気な頃が懐かしい思い出になりました。
38期	本城丈夫	まだ仕事がんばってます。(土曜日は休みではないです)
43期	二見むつみ	お世話になります。よろしくお願いします。

和歌山地区

38期	村田　忍	御案内有りがとう御座居ます。久し振りの総会出席を楽しみにしています。
49期	水野晴夫	出席出来ず残念です。

平成28年９月

会員各位

東京工芸大学同窓会
関西支部長　駕田　毅

会費納入のお願い

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
皆様には、日頃支部運営に何かとご協力を賜り有難うございます。同窓会の活性充実を図るため、会員の皆様には支部活動の状況をお知らせし、一層のご理解を戴くことを念じまして、本年も28年度の会報を制作し、お届け致しました。お目通しの程よろしくお願いします。

恒例の支部総会は、会員各位の親睦・情報交換の場として、一層盛大になることを念じております。

つきましては、同窓会関西支部の28年度年会費のご協力をお願いする次第でございます。**次回の総会に初めて参加希望、参加予定の方も28年度会費のみで結構です**ので、万障繰り合わせの上ご参加頂きます様お願い申し上げます。

尚、28年度会費納入済みの方には会費請求の重複ご容赦下さい。

敬　具

記

１．東京工芸大学同窓会
　　関西支部　28年度・年会費　3,000円

２．会費振り込み先　東京工芸大学同窓会・関西支部
　　口座番号　南郵便局［00940－4－97724］
　　※同封の郵便振替用紙をご利用下さい。
　　（振込料は無料です）

年々会費納入者が減っております。
このままでは支部運営に多大な影響を及ぼします。是非とも１名でも多く会費納入に御協力をお願い致します。

◇お問い合わせは会計担当・倉橋まで　Tel 06－6761－6868
会計担当　倉橋正直

東京工芸大学同窓会関西支部 役員氏名

	役職名	期	氏名	備考
	顧問	23	上田史郎	
	顧問	30	福岡武雄	
	顧問	30	松本一馬	
1	支部長	42	駕田　毅	総務担当
2	副支部長	40	倉橋正直	会計担当
3	副支部長	工21	原　浩一	企画担当
4	副支部長	39	山本　哲	総務・大阪地区長
5	副支部長	工２	内田英男	大阪地区４年生制担当
6	副支部長	47	大西　繁	滋賀地区長
7	副支部長	39	安岡賢治	京都地区長
8	副支部長	54	金居光由	兵庫地区長
9	副支部長	43	二見むつみ	奈良地区長
10	副支部長	38	村田　忍	和歌山地区長
11	監事	38	滝口雅之	
12	監事	工８	谷野　彰	
13	副地区長	30	安川洋平	奈良地区
14	広報担当	工16	小林修一	
15	同期委員	30	安川洋平	兼任
16	同期委員	31	森澤嘉昭	印刷部会　会長
17	同期委員	38	滝口雅之	兼任
18	同期委員	39	安岡賢治	兼任
19	同期委員	工２	内田英男	兼任
20	同期委員	工16	小笠原秀樹	
21	同期委員	工25	鈴木正一郎	
22	職場委員	工21	原　浩一	兼任・FFGS
23	職場委員	工25	鈴木正一郎	兼任・ダイヤミック
24	職場委員	工12	伊東正邦	兼任・大日本スクリーン
25	職場委員	工27	三橋浩二	ダイコロ
26	婦人部部長	38	村田　忍	兼任
27	婦人部委員	43	二見むつみ	兼任

会員の皆さんに同窓会情報をお届けしようと、会報をお送り致します。
ご意見・ご提案がございましたらご一報下さい。
なお、会員の異動や慶弔ごとなどは、お手数ですが各地区長又は事務局までご連絡下さい。

支部長兼総務担当　駕田　毅

東京工芸大学同窓会関西支部

事務局　〒573-1132　枚方市招提田近２丁目８番地（枚方企業団地）
ダイコロ株式会社内　秘書室
TEL 072-850-0771　　FAX 072-850-6396

各地区連絡先

滋賀地区　大西　繁
〒525-0072　草津市笠山５丁目３-66-604　　TEL077-563-9208

京都地区　安岡賢治
〒610-0331　京田辺市田辺北里24　　TEL0774-62-1376

大阪地区　内田英男
〈工学部〉　〒594-1111　和泉市光明台２-45-２　　TEL0725-56-5726

大阪地区　山本　哲
〒557-0006　大阪市住之江区浜口西２-３-９　TEL06-6678-2426

兵庫地区　金居光由
〒651-0095　神戸市中央区旭通り　　TEL090-4305-8022
４-１-３-5303

奈良地区　二見むつみ
〒630-8301　奈良市高畑南町143-22　　TEL0742-26-2575

和歌山地区　村田　忍
〒646-0043　田辺市今福町91　　TEL0739-22-4595

当会報作成にあたっては、ダイコロ株式会社に一層のご協力を戴きました。ダイコロ㈱には厚く御礼申し上げます。
東京工芸大学：同窓会関西支部

MEMO

株式会社　美生社

39期　山 本　　哲　　工･５期　山 本　　忠
70期　山 本 素 之

〒557-0024 大阪市西成区出城1－7－4
ＴＥＬ 06-6647-8555㈹
ＦＡＸ 06-6647-3176

31期　森澤嘉昭

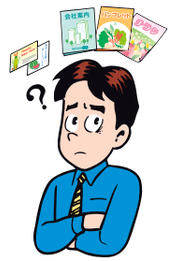
モリサワ

株式会社モリサワ

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25
Tel.06-6649-2151　Fax.06-6649-2157

印刷のことで困っていませんか？

どんなふうに進めたらいいの？
目的にあったパンフレットやチラシを少量でつくりたい！
印刷物の制作費ってどれくらい？



つくりたい印刷物の制作費や配布したい時期など、企画の段階からご相談ください。
ダイコロは、デザイン・撮影から印刷・製本までトータルでサポートいたします。

思い出メーカー ダイコロ株式会社　大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近2-8 ☎072-850-0771(代)
http://www.daicolo.co.jp

http://www.t-kougei-kansai.jp/

Printed by DAICOLO
2016. 9 .